

平成 21 年度 英語学力テスト A 解答

| 大問 | 小問 | 正解 | 配点 | 大問 | 小問 | 正解 | 配点 | 大問 | 小問 | 正解 | 配点 |
|----|------|----|------------|------|------|----|------------|------|------|------------|------------|
| ① | (1) | 2 | 各 2 20点 | ③ | (19) | 4 | 各 2 10点 | ⑥ | (39) | 2 | 各 3 12点 |
| | (2) | 1 | | | (20) | 2 | | | (40) | 4 | |
| | (3) | 3 | | | (21) | 1 | | | (41) | 3 | |
| | (4) | 4 | | | (22) | 3 | | | (42) | 1 | |
| | (5) | 4 | | | (23) | 1 | | (43) | 4 | | |
| | (6) | 3 | | ④ | (24) | 3 | ⑦ | (44) | 2 | 各 3 12点 | |
| | (7) | 1 | | | (25) | 1 | | (45) | 2 | | |
| | (8) | 3 | | | (26) | 3 | | (46) | 3 | | |
| | (9) | 2 | | | (27) | 2 | | | | | |
| | (10) | 1 | | | (28) | 4 | | | | | |
| ② | (11) | 1 | 各 2 16点 | ⑤ | (29) | 3 | 各 2 20点 | | | | |
| | (12) | 4 | | | (30) | 2 | | | | | |
| | (13) | 3 | | | (31) | 1 | | | | | |
| | (14) | 2 | | | (32) | 4 | | | | | |
| | (15) | 2 | | | (33) | 2 | | | | | |
| | (16) | 1 | | | (34) | 1 | | | | | |
| | (17) | 4 | | | (35) | 3 | | | | | |
| | (18) | 3 | | | (36) | 2 | | | | | |
| | | | | (37) | 1 | | | | | | |
| | | | | (38) | 4 | | | | | | |

英語学力テスト A [6][7] 読解問題 (学習用のため、直訳に近いものになっています。)

[6]

あなたは“party”という言葉聞いて何を思いますか。“party”では人々は楽しんで特別な時間を過ごすために集まります。ここに、いくつかの“party”の例があります。誰かが、クラブやグループに入るとき、私たちは歓迎の気持ちを示すために“welcome party”を開きます。そして、誰かがお別れをする時、私たちは感謝とその人の幸運を祈って“farewell party”を開きます。“housewarming party”は、誰かが新しい家に引っ越して来た時に開かれます。誰もが、その家をより居心地良くするために、鉢植えや絵のような小さなプレゼントを持ってきます。“potluck party”はおもしろいアイデアです。もしあなたが“potluck party”を開くなら、食べ物のことを心配する必要はありません。“party”に来る人々が何か食べ物を持参しなければなりません。そして皆でその食べ物を食べることを楽しむことができます。“costume party”では、人々は違ったキャラクターのそれぞれの衣装を着ます。よく“Disney characters”のようなテーマを設定します。“pajama party”では、友達同士で集まり、誰か一人の家に泊まります。皆で一晩中おしゃべりし、あまり眠りません。

あなた自身の“party”を創り出し、計画するのはいかがですか。

[7]

マルコは毎週水曜日の午後、ボランティアの先生として彼が通った小学校へ行きました。そこで、彼は数学の授業をあまり理解できない生徒の手助けをしました。彼は学校の先生になりたいと思っていたので、これはマルコにとって良い機会でした。

彼は学校に行くとき、古いギターをいつも持って行きました。教えるのを終えた後、公園でギターを練習したのです。彼はギターのレッスンを受けるお金を持っていませんでした。

マルコの生徒の一人のボビーは、2年生のとき数学は全く好きではありませんでした。マルコがボビーに3年間数学を教え、彼は学校で最も優秀な生徒の一人になりました。ボビーの担任のウェブ先生は「マルコ、あなたはいい数学の先生になるわ。」と言いました。

ある日、ボビーはマルコのところに来て、「お父さんがマルコのことを待っているんだ。何か言いたいことがあるんだ。」と言いました。

マルコは彼の父親に会いに、ボビーと校舎から出ました。「お父さん、マルコだよ。」ボビーは言いました。スミスさんはマルコの手を握りました。「私の息子の手助けをしてくれてありがとう。ボビーは、君がいつもとても上手に説明してくれると言っているよ。今では数学が彼の一番好きな教科になりつつあるんだ。」

「彼は素晴らしい子です。」マルコはスミスさんに言いました。「私も彼に教えるのを楽しんでます。」

そのとき、スミスさんはマルコのギターに気がつきました。「演奏するのかい。」と彼は尋ねました。

「そうです。でも、少しだけです。」マルコは答えました。「ギターのレッスン代が高すぎるのです。」

スミスさんが微笑みました。「私は長いことギターを弾いているんだ。もしお返しに君に教えられたら、うれしいね。」